

個別事故情報（個表）の見方

○製品区分名

- 01. 家庭用電気製品
- 02. 台所・食卓用品
- 03. 燃焼器具
- 04. 家具・住宅用品
- 05. 乗物・乗物用品
- 06. 身のまわり品
- 07. 保健衛生用品
- 08. レジャー用品
- 09. 乳幼児用品
- 10. 繊維製品
- 11. その他

NITEが事故を受け付けた日

製品区分：（区分番号、区分名）

管理番号 事故発生年月日	品名	事故通知内容	事故原因	再発防止措置	情報通知者 受付年月日
管理番号 事故発生年/月/日 (事故発生地) ○○県	品名 型式 製造事業者名等 使用期間： (製品を購入してから事故が発生するまでの使用期間)	事故通知内容 (通知された事故内容を記載。) (被害区分)	事故原因 (NITEで事故調査を行った結果の概要。) (原因区分)	再発防止措置 (事業者、行政等が行った再発防止措置の概要。) (原因区分)	情報通知者① 情報通知者② 情報通知者③ (受付年月日)

都道府県名

事故情報の受付順に付けられる番号
2017-0001
 受付年度-受付番号
 (連番)

事故が発生した製品の製造・輸入・販売事業者名と製品の型式。
 事故原因が製品に起因する場合（事故原因区分：A,B,C,G3）のみ記載。

○被害区分は、人的被害、物的被害の状況を以下に区分して表記しています。
 ○複数の被害があった場合、以下の区分の順位の最上位を表記しています。
 ・死亡
 ・重傷
 ・軽傷
 ・拡大被害
 ・製品破損

調査結果に基づく事故原因区分
 (事故原因区分表を参照)

○事故情報の通知者区分名
 ・消費生活センター・製造（輸入）事業者
 ・販売事業者・市町村・都道府県・国の行政機関
 ・警察機関・消防機関・医療機関 等
 ○通知者の全てを記載（通知順）

<事故原因区分表>

		区分記号	事故原因区分
製品に起因する事故		A	専ら設計上、製造上又は表示に問題があったと考えられるもの
		A 1	設計不良
		A 2	製造不良
		A 3	品質管理不十分
		A 4	表示又は取扱説明書の不備
		B	製品自体に問題があり、使い方も事故発生に影響したと考えられるもの
		B 1	設計不良で使い方も事故発生に影響
		B 2	製造不良で使い方も事故発生に影響
		B 3	品質管理不十分で使い方も事故発生に影響
		B 4	表示又は取扱説明書の不備で使い方も事故発生に影響
		C	製造後長期間経過したり、長期間の使用により性能が劣化したと考えられるもの
	C 1	経年劣化	
製品に起因しない事故		D	業者による工事、修理、又は輸送中の取扱い等に問題があったと考えられるもの
		D 1	業者の設置・施工不良
		D 2	業者の修理不良
		D 3	業者による輸送中の取扱いの不備
		E	専ら誤使用や不注意な使い方と考えられるもの
		E 1	消費者の誤使用
		E 2	消費者の不注意
		E 3	消費者の設置・施工不良
		E 4	消費者の修理不良
		F	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係すると考えられるもの
	F 1	製品には起因しない偶発的事故	
	F 2	その他製品に起因しないか、又は使用者の感受性に関係するもの	
		G	原因不明のもの
		G 1	原因不明
		G 2	調査不能
		G 3	製品起因であるが、その原因が不明のもの
		H	調査中のもの
		H1	調査中
	H2	係争中	